

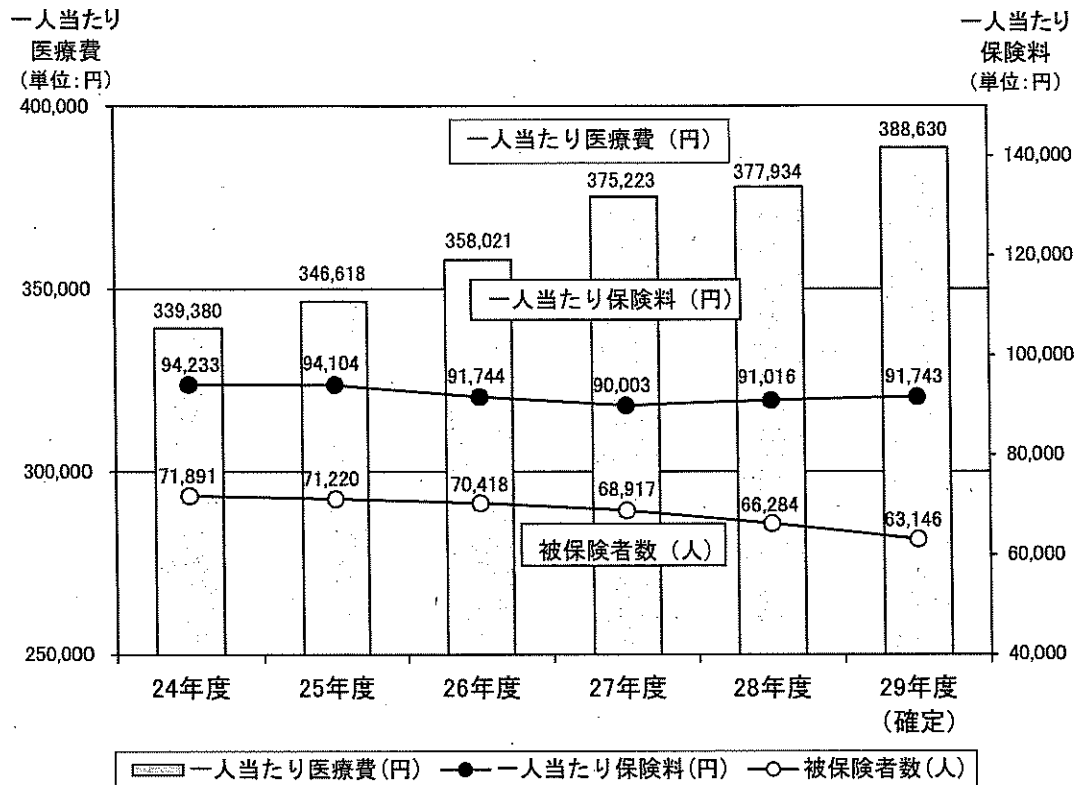
平成30年度 第2回

明 石 市 国 民 健 康 保 険
運 営 協 議 会 基 礎 資 料

目 次

被保険者数、一人当たり医療費及び一人当たり保険料の推移・・・P	1
医療費総額及びレセプト件数の推移・・・・・・・・・・P	2
人口に占める被保険者数・・・・・・・・・・P	3
所得区分別の被保険者の構成・・・・・・・・・・P	4
所得段階別の世帯数・・・・・・・・・・P	5
一人当たり所得額の推移・・・・・・・・・・P	6

被保険者数、一人当たり医療費 及び一人当たり保険料の推移



*このグラフは被保険者数、一人当たり医療費及び一人当たり保険料について、平成24年度から平成29年度までの年度ごとの推移を表したものです。

1. 被保険者数について

75歳に達して国民健康保険から後期高齢者医療制度へ移行する者が多く、毎年減少しています。特に被用者保険の適用が拡大された平成28年度以降はその傾向が強くなっています。

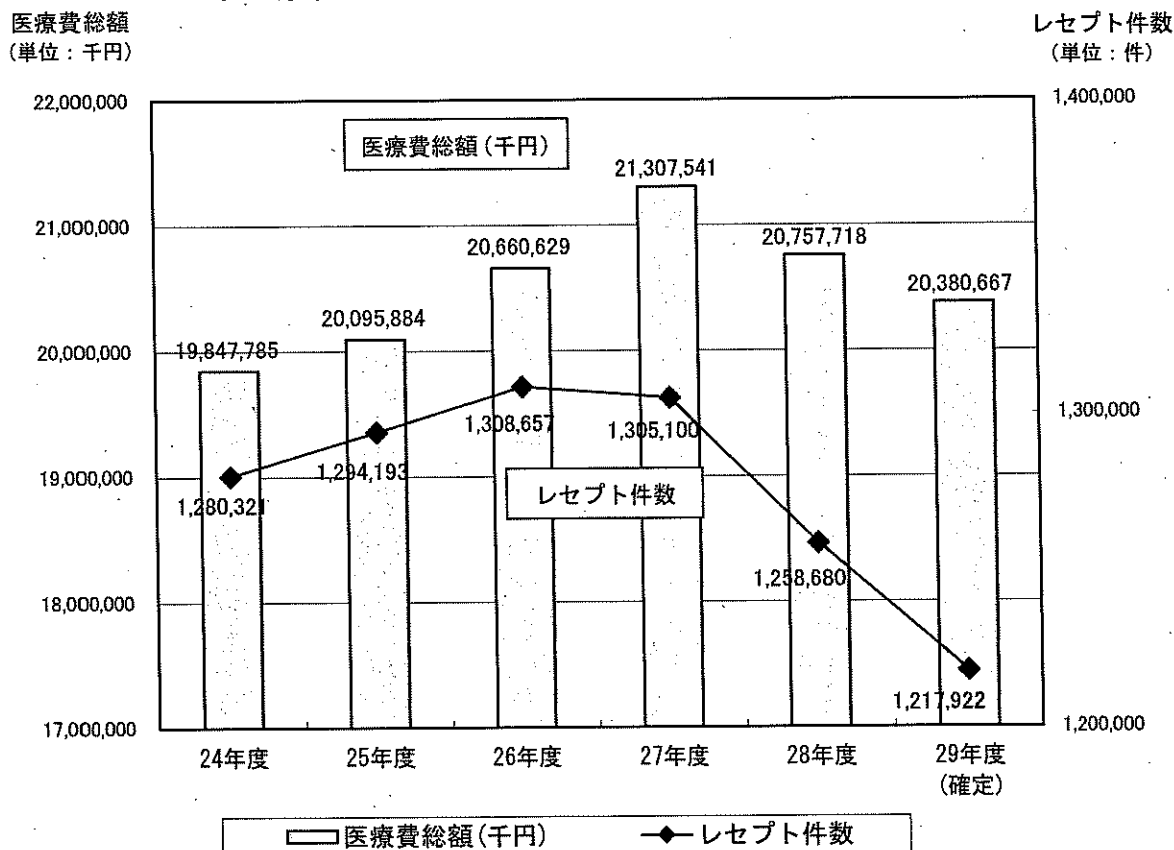
2. 一人当たり医療費について

高齢化の進展と医療の高度化により、年々増加しており、今後もその傾向が続くものと見込んでいます。

3. 一人当たり保険料について

平成25年度以降は保険料の軽減制度が毎年拡充され、減少が続いてきました。しかし、平成28年度以降は、被用者保険の適用拡大に伴う低・中所得層の国民健康保険からの脱退や景気の回復により、平均所得が上がった影響で、増加に転じています。

医療費総額及びレセプト件数の推移



*このグラフは兵庫県国民健康保険（明石市）が保険医療機関等に支払った医療費総額（保険者負担額）と、レセプト件数の年度毎の推移を表したものです。

1. 医療費総額について

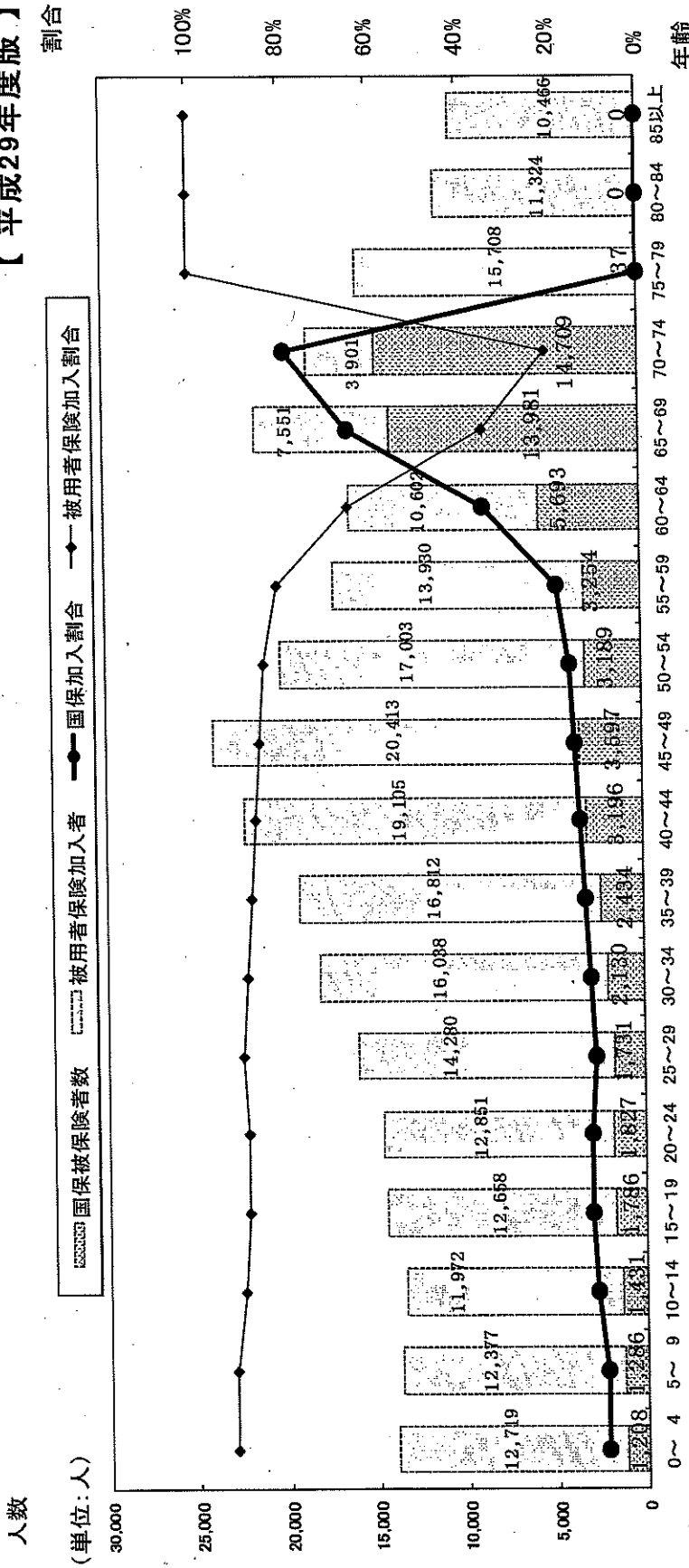
平成27年度までは団塊世代の退職に伴う国民健康保険への加入やそれに伴う高齢化、高額薬剤による治療などの医療の高度化による影響で、毎年増加してきました。しかし、被保険者数の減少傾向が強くなった平成28年度からは減少に転じています。

2. レセプト件数について

平成26年度までは医療費総額と同様の理由により増加してきましたが、平成27年度は若干の減少に転じ、平成28年度からは急激に減少しています。

人口に占める被保険者数

【平成29年度版】



	39歳以下	40歳~64歳 (介護保険第2号被保険者)	65歳~74歳 (前期高齢者)	75歳以上 (後期高齢者)	合計
国保被保険者	13,833人	18,929人	28,690人	37人	61,489人
明石市全人口	123,540人	99,982人	40,142人	37,535人	301,199人
国保加入割合	11.20 %	18.93 %	71.47 %	0.10 %	20.41 %

平成30年3月末日 現況

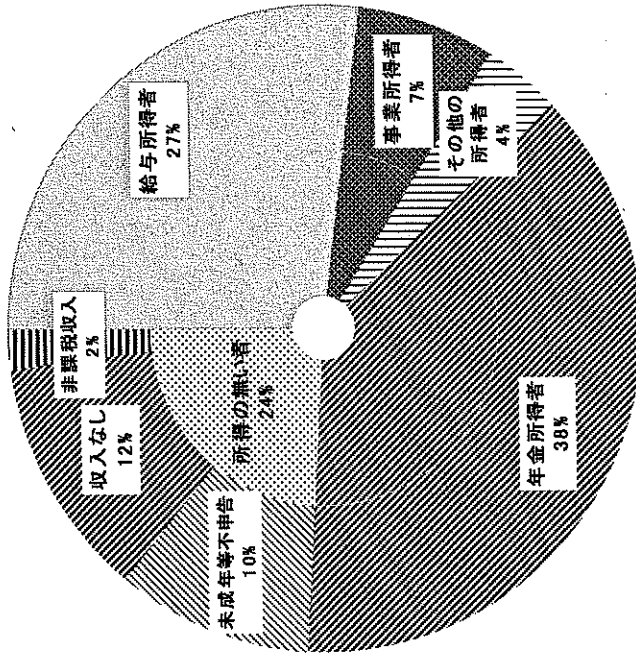
75歳以上の後期高齢者を除いた総人口で見ると、国保加入者は、23.31%ですが、60歳未満の加入者は13.06%、これから

20歳未満の未成年を除いた20歳から59歳のいわゆる現役世代の国保加入者は、14.07%です。

これに対して、60歳以上では、60.92%、65歳以上では71.47%の方が加入しています。

60歳を境にして急激に加入割合が高くなっています。

所得区分別の被保険者の構成



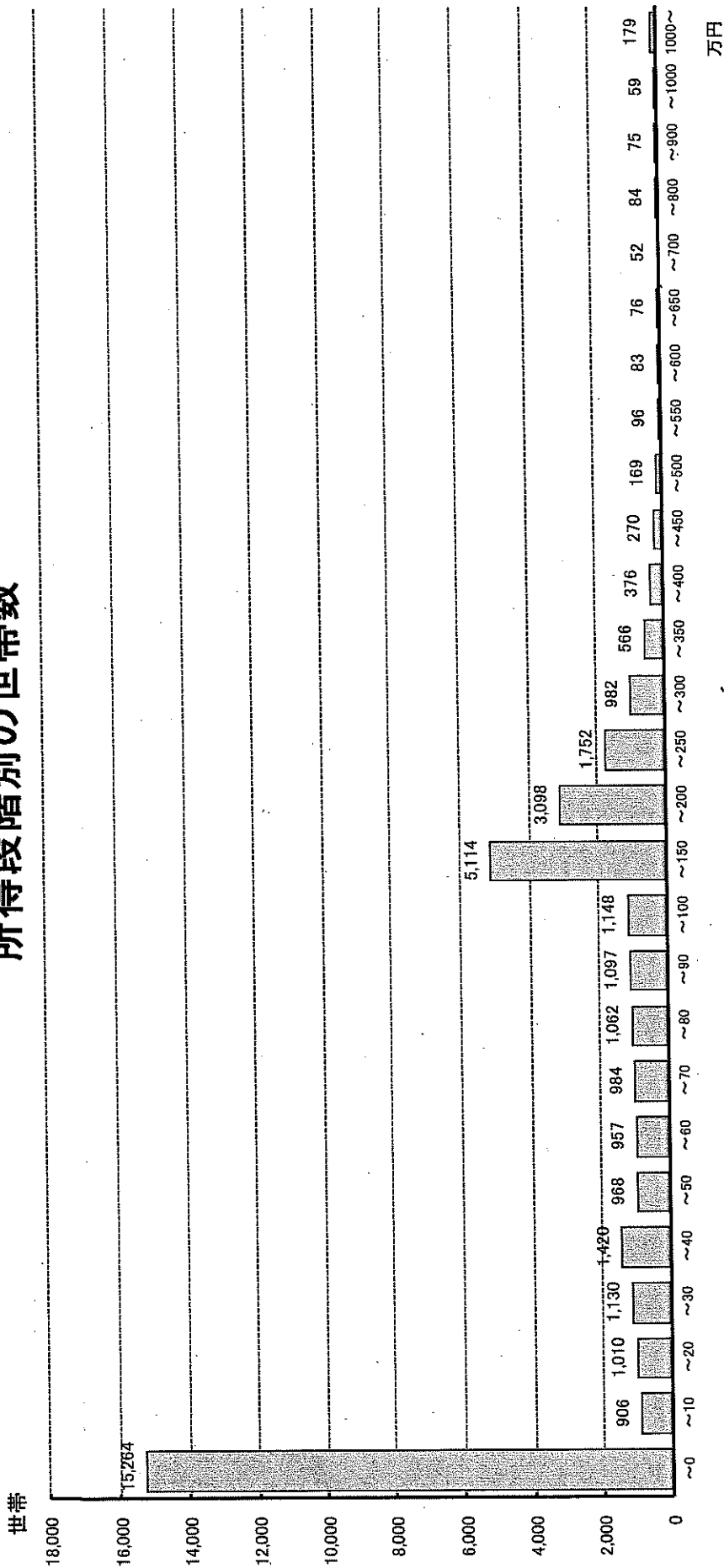
所得区分別の内訳

所得区分	被保険者数	所得額の合計	所得額の割合
給与所得	16,670 人	16,715,122,224 円	37.7 %
事業所得	4,098 人	10,250,338,815 円	23.1 %
その他の所得	2,293 人	3,946,170,265 円	8.9 %
年金所得	23,532 人	13,481,493,600 円	30.3 %
未成年等不申告	6,318 人	0 円	0.0 %
収入なし	7,086 人	0 円	0.0 %
非課税収入	1,454 人	0 円	0.0 %
合計	61,451 人	44,393,124,904 円	100.0 %

平成30年3月末日 現況

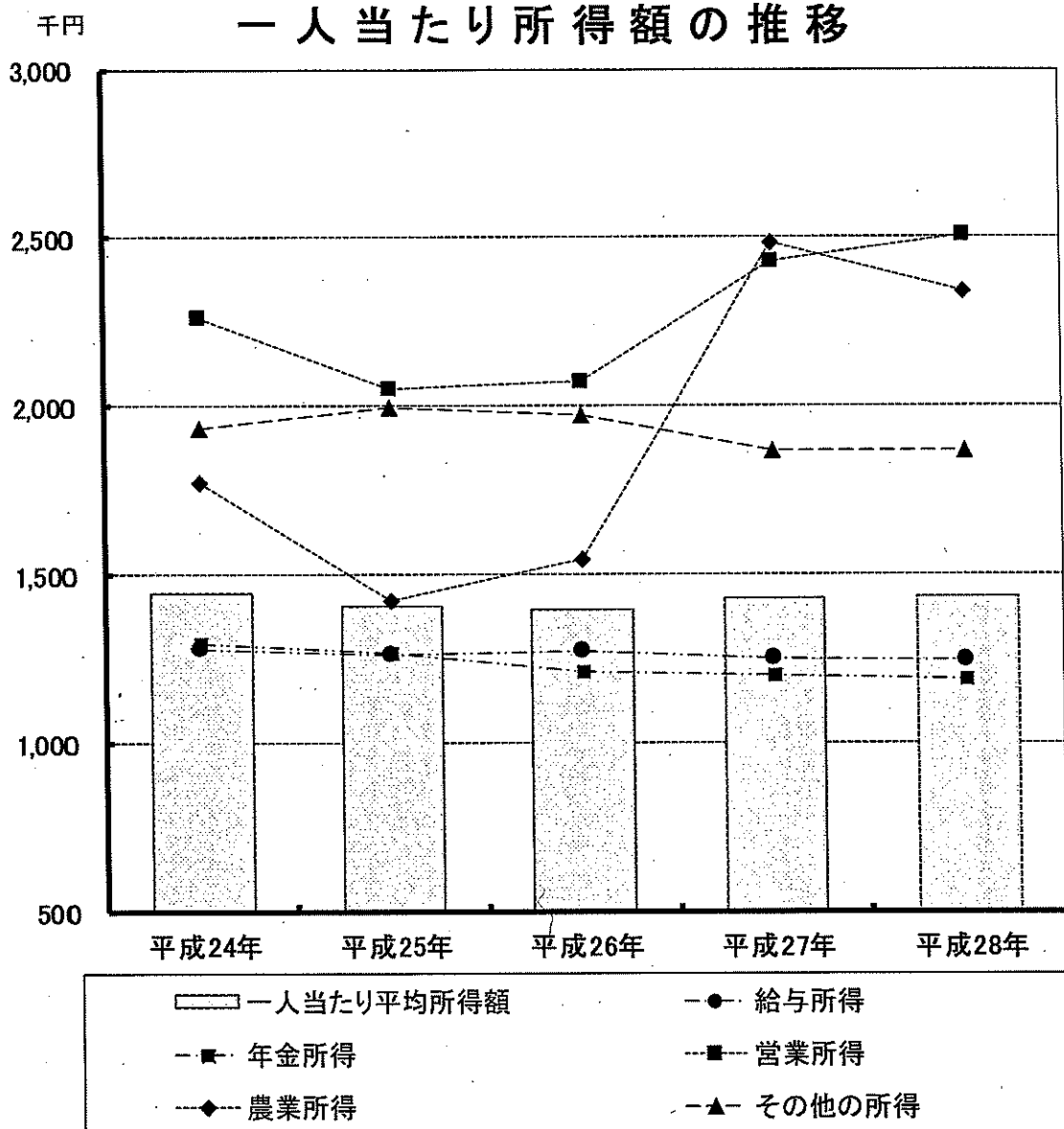
被保険者の所得区分別の分布と所得額の割合を示しています。所得の無い方は、14,858人で、全被保険者(61,451人)の24.1%となっています。

所得段階別の世帯数



平成30年3月末日 現況

国保に加入している全世帯(38,977世帯)の所得段階毎の加入世帯数を示しています。所得なしの世帯が15,264世帯で、全世帯の39.1%、所得額50万円未満の世帯が20,698世帯で、全世帯の53.1%、所得額100万円未満の世帯が25,946世帯で、全世帯の66.5%を占めています。国保に加入している世帯は、所得の低い世帯が非常に多いことがわかります。



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
給与所得	1,279,687円	1,264,851円	1,271,382円	1,250,107円	1,243,315円
年金所得	1,297,680円	1,266,204円	1,212,014円	1,200,496円	1,189,264円
営業所得	2,265,862円	2,051,299円	2,075,980円	2,430,134円	2,510,370円
農業所得	1,772,811円	1,421,303円	1,546,640円	2,486,717円	2,342,903円
その他の所得	1,935,696円	1,995,038円	1,974,747円	1,866,281円	1,869,337円
一人当たり平均所得額	1,443,897円	1,406,844円	1,394,354円	1,427,207円	1,433,100円

各年1月1日～12月31日

所得のある被保険者に係る平均所得額を所得種類別に年次推移で示しています。

平成28年の所得を見ると、1人当たり所得額は1,433,100円と、平成27年度以降増加しています。

また、所得0円の方を含めると、平成28年中の1人当たり所得額は、952,785円となっています。